

「未来の居場所づくり」

シンポジウム

参加費
無料

誰にとっても、安心して過ごせる場所や、
自らの役割を感じられる機会があることが、
生きていくための基盤になります。
(厚生労働大臣メッセージより)

「自分が安心して行ける場所、
そのまま受け入れられる居場所が欲しい」
という本人、家族の声が多数
(KHJ 調査 2018 より)

「居場所」とは、地域社会の中に、本人及び家族が安心して出掛けられ、受け入れられる「場」である。似たような体験を持つ人同士の安心感と共感性を大切にしたい仲間との出会いを通して、他者との関係づくり、意欲の回復や自信を取り戻すための場である。しかし、既存の居場所支援においては、年齢制限や制度の壁があり、外には出られたものの、地域で安心して出ている場が見つからないという本人の声は少なくない。出ている場がないから、ひきこもらざるをえないという現状もある。

「居場所」は、ひきこもっている本人や家族にとって、どんな意味があるのか。ひきこもり支援全体から「居場所づくり」とは、どういう意味や意義を持っているか。また実際に、居場所づくり、運営は、どのように行ったらいいのか。配慮すべき大切な点は何なのか。身近な地域で安心して出かけられる「居場所づくり」のために何から始めたらいいか。全国的に、居場所開設へのすそ野を広げるべく、本年度の調査報告から現場の実践者、当事者と共に、居場所のあり方、その実践方法を考えます。

行ってみよう、やってみよう、支えてみよう、ひきこもりの居場所

自治体の方、ひきこもりの居場所づくりに関心のある方、ぜひお越しください。【定員：120名】

日時 **2/16** (日) 13:30-16:30 (受付開始 13:00)

会場 **兵庫県民会館パルテホール**

兵庫県神戸市中央区下山手通4-16-3 神戸市営地下鉄「県庁前」駅(東1出口から1分)

申込方法

KHJホームページ

KHJ ひきこもり

検索

FAXでお申し込み 03-6369-3101

- ①お名前とフリガナ
- ②お立場 (行政、支援者、家族、本人、一般)
- ③電話番号かメールアドレス
- ④お住いの都道府県
- ⑤ご所属 (任意) …をお書き添えください。

「未来の居場所づくり」シンポジウム・兵庫

総合司会・コーディネーター：神戸市看護大学 教授 船越 明子

基調報告

「親しまれる居場所づくりのポイント」

～地域共生を目指すひきこもりの居場所づくりの調査研究事業から見てきたもの～」 境 泉洋（宮崎大学教育学部准教授）

行政説明

「ひきこもり支援施策における居場所」

安西 慶高（厚生労働省 社会・援護局地域福祉課 課長補佐）

実践報告

「行ってみよう、やってみよう、支えてみよう、ひきこもりの居場所」

座長：池上正樹（フリージャーナリスト）



1. 「女性とひきこもりと居場所」 林 恭子（一般社団法人ひきこもり UX会議代表理事）

高校2年で不登校、20代半ばでひきこもりを経験する。信頼できる 精神科医や同じような経験をした仲間達と出会い少しずつ自分を取り戻す。現在はNPO法人に勤務しながらイベント開催や講演などの当事者活動をしている。新ひきこもりについて考える会世話人／ヒッキーネット事務局／NPO法人 Node 理事 厚労省「地域共生を目指す居場所づくり事業」委員、東京都ひきこもり支援協議会委員。



2. 「趣味で集まる居場所づくり」 下村 宜生（「はじまりの街」世話人）

愛称：黒ひげ☆ 1972年兵庫県生まれ。美術大学卒業後、高校の非常勤講師として勤務。2000年頃から、冒険遊び場（プレーパーク）の活動をはじめ。その後、まちづくり活動を行うNPOに参加し「居場所づくり」や「サードプレイス」という概念と出会い、子どもや若者にとっての居場所のあり方について考察と実践を始める。2014年、ひきこもり当事者の若者と出会い、プレーパークで一緒に活動。2019年、アニメやゲームなどの「サブカルチャー」をツールとした「居場所」を思いつき賛同者を集め『はじまりの街』を始める。



3. 「孤立を生まない誰でも集える場」 松本 むつみ（NPO 法人ピアサポートひまわりの家 副理事長）

小学校の教師を35年。退職後、淡路景観園芸学校に入学し園芸療法士になる。地域の皆さんと一緒に、空き家になっていた実家を改装して、NPO法人高次脳機能障害ピアサポートひまわりの家としてガーデンカフェを開く。カフェに集まってきたひきこもりの若者たちにかかわる中で、KHJ全国ひきこもり家族会連合会を知り、兵庫県栗粟支部として居場所づくりに取り組む。当事者たちと一緒に、1つ目の居場所「歩歩」を作る。「歩歩」では、居場所と共に、ピアサポータを中核にして、医療・福祉・法律の多職種連携で、相談支援・訪問支援にも取り組んでいる。KHJひきこもりピアサポーター。精神保健福祉士。



4. 「家族の居場所と本人の居場所」 藤本 圭光（よしひこ）（NPO 法人神戸オレンジの会 理事長）

1973年、兵庫県神戸市生まれ。1997年、流通科学大学商学部経営学科を卒業後、フリーターをしながら不登校の親の会などを回り始める。2002年、京都国際社会福祉センター社会福祉士養成課程を卒業後、精神科クリニックに勤務。退職後、2005年よりアウトリーチ神戸を立ち上げ、不登校・ひきこもりの方への訪問援助活動を開始。2006年よりNPO法人神戸オレンジの会の居場所スタッフ。2007年、こうべ若者自立塾スタッフ・こうべ若者サポートステーションスタッフ。2011年より現職。社会福祉士・精神保健福祉士。



〈お問い合わせ〉 特定非営利活動法人 KHJ 全国ひきこもり家族会連合会（本部事務局）

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨 3-16-12-301 TEL：03-5944-5250 info@khj-h.com <https://www.khj-h.com/>